

[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙 1 枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	福井大学	個人・グループ名	佐々木由希	作品名	観賞用無菌野菜 「クリーン ベジっば」
-----	------	----------	-------	-----	------------------------

製作の動機と目的

著者はインビトロ(*in-vitro*=試験管内という意)植物を応用した観賞用野菜の実用化を目指している。近年注目されている無農薬野菜を扱う飲食店などで消費者に野菜の清潔なイメージを与え,好きな場所に手軽にディスプレイすることの出来る野菜を栽培した。

利用方法

- ・無農薬野菜を扱う飲食店等にディスプレイとして利用し,飲食店で使用されている野菜の清潔なイメージをお客に与えるために製作した。

利用場面

- ・本植物「クリーン ベジっば」は完全な無菌植物なので,飲食店などの衛生的な環境にも安全に持ち込むことが出来る。
- ・ディスプレイする際には植物工場のような栽培装置が不要であるため,惣菜の入ったショーケースの中や,客席テーブルにおくことが出来る。
- ・ディスプレイとして可能な期間は約 4 週間である。
- ・ターンテーブルや,下方から LED などの発光照明で照らし,ディスプレイすることによって見た目の美しさも増す。

クリーン ベジっば
クリーン ベジっば



図 1.ベビーロッサー



図 2.ベビーコマツナ

工夫した点

使用する野菜の選別

- ・本植物「クリーン ベジっば」は文字通り葉物野菜を中心に栽培されている。なるべくピンの中で収まるミニ野菜を使用している。図 1 のピンのサイズは W15 cm×D13cm×H15cm、図 2 のピンのサイズは W10 cm×D10cm×H21cm である。

デザインの工夫

- ・野菜の清潔さを際立てるためにピン内下部の培地は透明にした。また,図 3 のように培地の中には様々な色や柄のビー玉,サンドグラスを入れ,人の目を引くようなデザインに仕上げた。
- ・独自に曇止め剤を調合し,ピン内壁に塗布しているため,室温の差によってピン内壁に水滴が付かないようになっている。
- ・以前まで,ガス交換はアルミ蓋に直接穴を空けてガス交換を行っていたが,図 4 のようにセロハンの中蓋にシールを貼り,この上からアルミの蓋をしてディスプレイする。



図 3.ピン底部の様子(ピン底から撮影)



図 4.中蓋の様子



上記の野菜以外にも栽培可能である。現在,シャオパオ(ミニチンゲンサイ),サラダハウレンソウ,いちご,バジル,アイスプラント等を栽培している。